

とちぎSDG s 推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリー	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDG s のゴール・ターゲットのマッピング																							
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	・雇用条件のあらゆる面において差別しない体制を経営トップが構築し、社員にも周知している。						5.1 5.2 5.5						8.5 8.7 8.8			10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ・ハラスメントに関する相談窓口を整備している。						5.1 5.2 5.5						8.5 8.8										16.1	
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない				○	基本	・多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行っている。 ・放送課は「専門業務型裁量労働制」を取り入れており、業務内容に合わせた出勤時間の調整を可能としている。 ・勤務状況や振休・代休・有休等の取得状況を確認し、長時間労働にならないよう改善、指導している。														8.5 8.8								
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	・雇用等に関して、国籍に関する差別等はない。					4.4								8.7 8.8		10.2 10.3								
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	・日常業務で使用する社有車の整備、安全運転の指導に努めている。 ・出勤時の体温、アルコールのチェック、及び、消毒や換気等を徹底し安全で衛生的な環境を整備している。						3								8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○			基本	・【予定】定期的に部門長とストレスチェックを兼ねた面談を実施し、高ストレス判定者にはカウンセリングができるよう体制を整える。																						
	7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・育児休暇、産休、雇用延長等の制度を設けており、個々の状況に合わせた働き方の相談にも乗っている。 ・女性の力でも扱いやすいよう小型軽量の機材などを積極的に導入している。							5.1 5.5							8.5		10.2 10.3							
	8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	・全社員の健康診断の実施及びインフルエンザ予防接種の全額補助、診断結果等による保健師からの健康指導、産業医との面談を実施している。						3								8									
	9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	・新人への社員研修、外部団体への研修会、技能講習受講など社費による受講を推進し、人材育成を促進させている。														8	9								
	10	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	・労働契約法等の内容を理解し、「同一労働同一賃金」等の原則に沿った体制の整備、対応を行っている。														8.5		10.2 10.3							
環境	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	・廃材等の社内で分別回収を徹底し、処理業者を通じて適切に処理、またリサイクルの推進を行っている。 ・書類の電子化に取り組み、ペーパーレス化を進めている。																		11.6 12.3 12.4 12.5		14.1			
	12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	・放送通信設備における消費電力を定期的に把握し効率化を図っている。 ・消費電力の比較的小さいLED照明機材やLTOテープを導入している。 ・エアコンの適切な温度設定、部屋の照明やパソコンの電源のこまめなオンオフなど、社員全員が節電を心掛けている。													7.3							13			
	13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	・エアコンの適切な温度設定、部屋の照明やパソコンの電源のこまめなオンオフなど、社員全員が節電を心掛けている。 ・ペーパーレス化を進めることで可燃ごみの削減に努めている。														7.2 7.3					12.4		13.3		

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																							
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	・自社の業務において、有害化学物質を使用していないことを確認している。															11.6	12.4								
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	・サービスの提供においては環境に配慮した資材等を使用し、社内ではゴミの分別でリサイクルを推進するなど、生物多様性や生態系の保全に配慮するよう努めている。 ・取材、放送することで生物多様性や生態系の破壊につながらないよう配慮している。																								
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	・水の利用状況を把握し、適正な使用に努めている。										6.4	6.6													
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用							3.9				6	7							12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用																	12.6								
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用												7.2										13			
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用																			12.2	13	14	15			
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	・撤去機器をレストアして再利用したり、廃棄機材をパーツ取りして再利用するなど、3Rの推進に取り組んでいる。 ・書類の電子化に取り組み、ペーパーレス化を進めている。										6.3						11.6	12 12.5	13	14	15				
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・汚職・贈収賄を禁ずることを就業規則に定めている。																							16 16.5	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・不正競争行為に関与しない方針を就業規則に定めている。																							16	
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	・著作権管理団体と契約を結び適正な使用に努めている。 ・ルールに基づいた著作物の取扱いについてスタッフが理解している。														8.2 8.3	9									
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	・「プライバシーマーク」を取得し、個人情報保護に関する社内体制を整備、社員教育を徹底している。 ・個人情報保護方針についてホームページで公開し、問合せ窓口を設置している。																							16	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用																							16		
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用								5					8			10	12	13	14	15	16	17			

